

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

2 根拠法令

統計法（平成19年法律第53号）（基幹統計調査）

統計法施行令（平成20年政令第334号）

学校基本調査規則（昭和27年文部省令第4号）

3 調査の範囲

- (1) 学校教育法第1条による小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び幼稚園
- (2) 同法第124条による専修学校
- (3) 同法第134条第1項による各種学校
- (4) 同法第18条による不就学学齢児童及び不就学学齢生徒
- (5) 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第3条による幼保連携型認定こども園

4 調査期日

平成27年5月1日現在

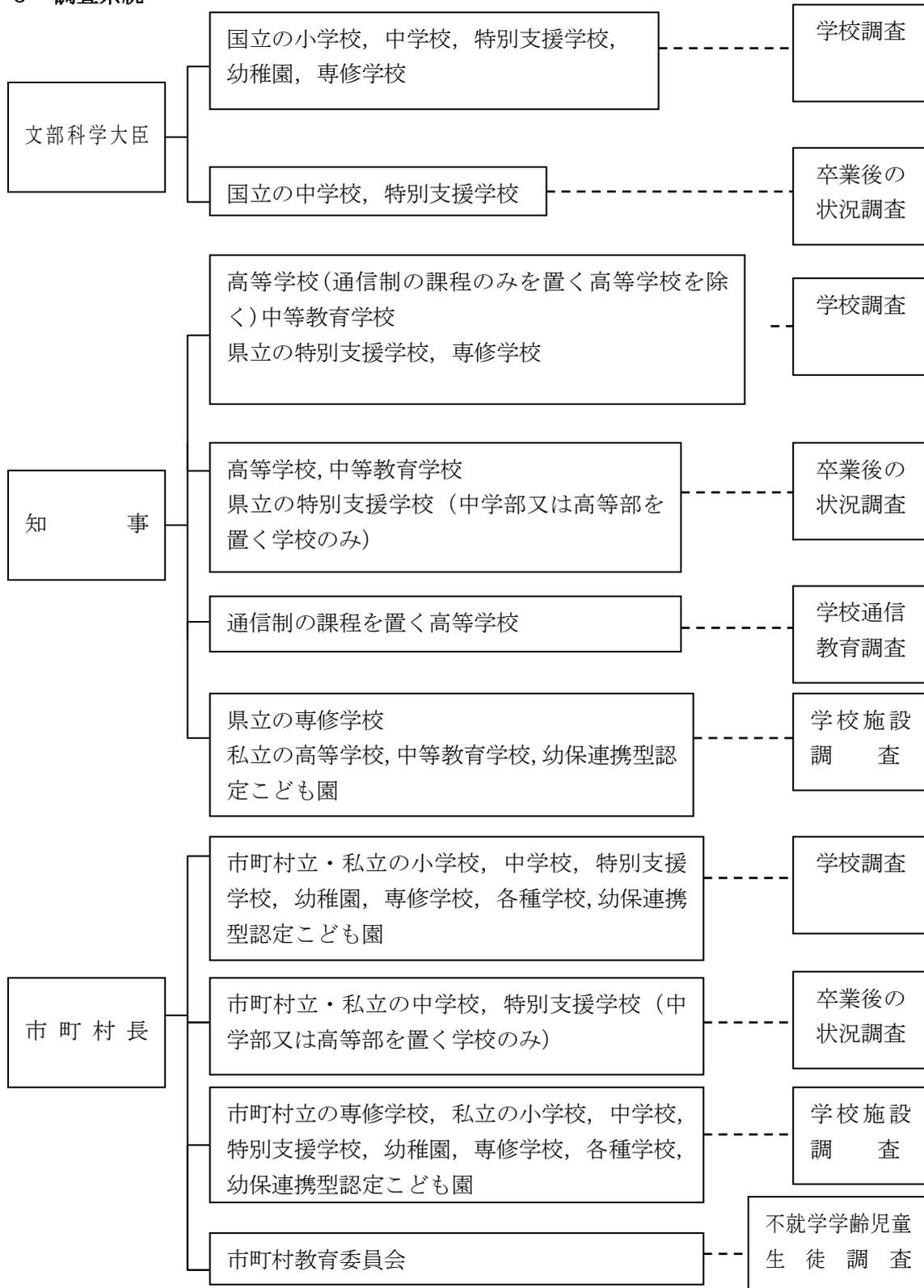
ただし、卒業後の状況調査に関しては、平成27年3月卒業者について、平成27年5月1日現在

5 調査方法・種類

- (1) 全数調査
- (2) 調査の種類及び調査事項

調査の種類	調査事項	申告者
学校調査	学校の名称、種類及び所在地、園児・児童生徒数、学科・課程又は学級に関する事項、教職員数、生徒の入学状況等	学校の長
卒業後の状況調査	学校の名称、種類及び所在地、卒業後の進学・就職等の状況等	学校の長
学校通信教育調査	学校の名称及び所在地、生徒の在籍状況、学科・課程に関する事項、教職員数、生徒の入学・退学及び単位修得の状況等	学校の長
不就学学齢児童生徒調査	教育委員会の名称及び所在地、学齢児童生徒の就学免除及び猶予の状況、1年以上居所不明者数、平成26年度間の死亡者数	市町村教育委員会
学校施設調査	学校の名称、種類及び所在地、学校建物面積及び学校土地面積	設置者

6 調査系統



7 本年度調査の変更点

就学前の子どもに関する教育，保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。以下「認定こども園法」という。）の改正（平成27年4月1日施行）により新たな学校種として「幼保連携型認定こども園」が追加。

卒業後の状況調査の調査結果において、「就職者」に「正規の職員・従業員，自営業主等」「正規の職員等でない者（雇用契約が一年以上かつフルタイム勤務相当の者）」の内訳を新設。

また、「一時的な仕事に就いた者」の調査項目名を「一時的な仕事に就いた者（雇用契約が一年未満又は短時間勤務の者）」に変更。

8 利用上の注意

(1) 本報告書中の構成比は，四捨五入によって算出しているため，合計の数字と内訳が一致しないこともある。

(2) 本報告書中の記号は，次のとおりとする。

『 - 』	係数が『0』の場合
『0.0』	係数が単位未満の場合
『・・・』	係数出現があり得ない場合，又は調査対象とならなかった場合
『△』	減少の場合
『ポイント』	%と%の差

9 東日本大震災に伴う調査上の取扱いにおける留意点

(1) 学校に関する事項

①被災のため，近隣の市町村に移転している学校の所在地は，一時的な移転であれば，本来の「所在地」及び「へき地等学校指定」を記入するものとする。

(2) 児童・生徒に関する事項

① 調査基準日時点で，学籍を移すことなく避難し，避難先の学校に事実上就学をしている者は，当該避難先の学校で計上する。

②行方不明の者（死亡が確認されていない者）の児童・生徒は，学籍を有する学校で計上する。

③高等学校の入学者選抜で，通常とは異なる弾力的な対応を行った場合でも，入学志願者として取り扱うこととする。